



令和6年度に向けて

まもなく、令和5年度が終了します。各幼稚園・保育園・小学校はアプローチ・スタートカリキュラムを実践し、次年度に向けて振り返りを行っていると思います。幼保小の架け橋プログラム事業では、令和5年度も保育体験研修や小学校体験



令和5年度最後の開発会議

研修をはじめとした教職員の研修や次年度入学予定の5歳児を対象とした小学校見学会など市全体での取組を実施してきました。保育・小学校体験研修では、回を重ねるごとに幼保と小学校互いが見える関係となり、白石の子供たちを同じ思いで育てることの意識が高まりました。次年度は、今年度の実践を振り返り、より子供の成長につながる実践を行っていききたいと思います。

白川保育園・白川小学校の取組紹介



Aグループ（白石第一小・大鷹沢小・白川小・大鷹沢保育園・白川保育園・ひかり幼稚園・あそびの森）の白川小学校と白川保育園は道路を挟んで隣接した環境にあります。そのため、保育園と小学校との交流や教育活動の様子を参観することが容易にできます。

そこで令和4年度に作成した白石市幼保小接続（アプローチ&スタートカリキュラム）を基に実践したことから主に交流活動を紹介します。



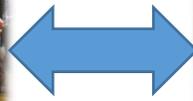
アプローチカリキュラム〈小学生ってすごいな！〉

見たい、聞きたい、混ぜりたい



小学校の持久走大会では、応援グッズを持って応援しました。秋祭りはお客さんとして参加しました。

動くジャンボカルタ大会では、絵札を背負った1，2年生を追いかけました。1，2年生は捕まらないように懸命に走り、5歳児も最後まであきらめずに走りました。



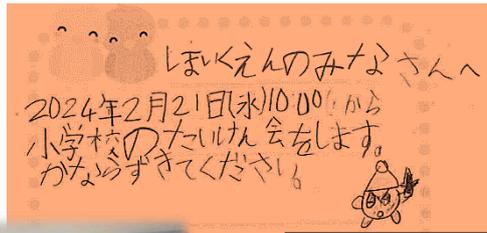
小学校の学習発表会を5歳児が見学。その後、保育園のお楽しみ会の劇遊びを1年生が見学しました。拍手したり、感想を発表したり交流をしました。

スタートカリキュラム(もうすぐ2ねんせい)
(生活科) あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう

作文発表・ひらがなのおけいこ・すうじのお
けいこ・楽器体験・よみきかせ



手作りの
招待状



5歳児



体操袋の
背負い方

1年生

1年生自身がプログラム・招待状・当日の進行を全て行い、4月に1年生になる5歳児にいろいろ体験してもらう会を開きました。

白川小学校の1年生は2人ですが、5歳児から「楽しかった」「ひらがな書けたよ」などの感想を聞くことができたことに自分たちでやり遂げたという気持ちをもつことができました。入学してから1年。成長した姿がありました。

小学校教員の保育園交流の実施

隣接している立地条件を生かし、白川小学校の教員が1名ずつ午前中保育園を訪れ、保育園の活動に参加する機会を設けました。各教員が保育園の活動を理解することと入学してくる5歳児の姿を把握することを目的として今年度は2月初旬に行いました。小学校の職員室で5歳児の話題もできるようになりました。

～今年度の成果と次年度の取組～

交流の機会が増え、それぞれの活動や園児・児童の様子が見えるようになりました。5歳児は自分が小学生になる姿を、1年生は自分の成長を感じることができました。次年度は学校花壇を利用して保育園の活動「種をまこう」小学校生活科「きれいにさいてね」の単元を共同で実践する計画を立てています。そのため、教職員の打ち合わせがより必要となってくると考えます。